

川村学園女子大学 日本文化学科 オープンクラスのご案内

日本文化学科では、下記のように、我孫子キャンパスにて「オープンクラス」を実施いたします。日本文化学科の特徴をご紹介します。

学科のカリキュラムは2つの柱で構成しています。

◎日本文学・日本語学系科目：「日本語で表現する力」

古典文学や近代文学について様々な視点で読んでいく科目や、日本語の特徴やその歴史的流れについて学ぶ科目などがあります。

◎日本美術・伝統芸能・民俗系：「感性をはらたかせ創造する力」

日本の美術の特色や歴史について実物を通して理解を深める科目や、宗教思想を通して日本人の心について学ぶ科目などがあります。

この2つの柱によって、資質・能力をはぐくみ、世界に向けて日本文化を発信できる人材を育成します。

このような学科の特徴を知っていただける科目を5科目開講いたします。

【開講予定科目】

日本語学(1) 日本の美術(1) 日本の宗教と思想 古典文学概論 近代文学概論

【授業時間割】

時限	月	火	水	木	金
1	日本語学(1)				
2		日本の美術(1)	日本の宗教と思想	古典文学概論	
3					近代文学概論
4					

1 時限 8:50~10:20 2 時限 10:30~12:00

3 時限 12:50~14:20 4 時限 14:30~16:00

【授業内容】

日本語学(1)：日本語の音声、表記、語彙、文法を客観的に見ることのできる力を養うとともに、国語教育における「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」を指導する力を身につけます。

(担当：長崎靖子)

日本の美術(1)：日本の美術品と建築・庭園に関する基礎知識や鑑賞法の習得を、実物作品を取り扱う実習やフィールドワークにもとづいて行います。

(担当：眞田尊光)

日本の宗教と思想：民俗学・宗教学的視点から日本人の宗教的世界観についてレクチャーします。

(担当：伊藤純)

古典文学概論：『源氏物語』の宇治十帖を例に、様々な視点で読んでいくことで、古典文学への理解を深めます。

(担当：千野裕子)

近代文学概論：中学校・高等学校の代表的な教材である近代文学作品をとりあげ、実際に味読しながら作品中の「新しい問題」を発見することをめざします。

(担当：山名順子)